

2025年度

地域基礎科目の履修について

旧カリキュラム・2018年度以前入学の学生用

地域基礎科目は、必修単位数が6単位であり、3コマの履修が必要であることは全員共通ですが、
所属する「地域」と専攻する「地域言語A」により、履修方法が異なります。 指定された履修方法によ
って修得した地域基礎科目6単位が進級要件です。 下記14の「地域」の中から該当する「地域」
の説明文を読み、地域基礎科目を履修登録してください。なお、履修指導文にある指定授業の
うち、時間割によっては2025年度に履修登録できない場合もあります。その場合は、2026年度
に履修するようにしてください。

1. 北西ヨーロッパ

「北西ヨーロッパ」地域の学生は、「北西ヨーロッパ」で開講される3コマ・6単位のうち、2コ
マ・4単位を選択して履修する。残り1コマ・2単位は、「北西ヨーロッパ」、「北アメリカ」、
「オセアニア」の授業の中から選択して履修する。

(注) 2024年度以降は、「北西ヨーロッパ」で開講される地域基礎は、2コマ・4単位になります。す
でに取得された単位は引き続き有効です。

2. 中央ヨーロッパ

・地域言語A（ドイツ語）の学生は、「中央ヨーロッパ」で開講され、ドイツ語教員が担当する5コ
マ・10単位のうち、2コマ・4単位を選択履修する。残りの1コマ・2単位については、「中央ヨー
ロッパ」で開講され、ドイツ語教員、ポーランド語教員、チェコ語教員が担当する地域基礎科目から選
択履修する。なお、秋学期開講の地域基礎2A（中央ヨーロッパ5）（ドイツ語）は、少人数でのゼミ形
式の授業（2年生対象）である。

・地域言語A（ポーランド語）の学生は、「中央ヨーロッパ」で開講され、ポーランド語教員が担当
する地域基礎科目（1コマ・2単位）を履修する。残りの2コマ・4単位については、「中央ヨー
ロッパ」で開講され、ドイツ語教員、チェコ語教員が担当する地域基礎科目、または「ロシア」で開講さ
れる「地域基礎1A（ロシア1）」（受講指定PLの付されたもの）から選択履修する。

・地域言語A（チェコ語）の学生は、「中央ヨーロッパ」で開講され、チェコ語教員が担当する地域
基礎科目（1コマ・2単位、春学期）を履修する。残りの2コマ・4単位については、「中央ヨー
ロッパ」で開講され、ドイツ語教員、ポーランド語教員が担当する地域基礎科目、または「ロシア」で
開講される「地域基礎1A（ロシア1）」（受講指定Czの付されたもの）から選択履修する。

3. 西南ヨーロッパ

・地域言語 A（フランス語）の学生は、「西南ヨーロッパ」で受講指定 F および F, I の付された 6 コマ・12 単位のうちから 3 コマ・6 単位を選択して履修する。

・地域言語 A（イタリア語）の学生は、「西南ヨーロッパ」で受講指定 I の付された 4 コマ・8 単位のうち、I のみの付された 2 コマ・4 単位、および、F, I の付された 2 コマから 1 コマ・2 単位を選択して、履修する。

・地域言語 A（スペイン語）の学生は、「西南ヨーロッパ」で受講指定 S の付された 2 コマ・4 単位を履修し、残りの 1 コマ・2 単位は「西南ヨーロッパ」で受講指定 S の付されたものか、「ラテンアメリカ」で受講指定 S の付された授業から選択して履修する。

・地域言語 A（ポルトガル語）の学生は、「西南ヨーロッパ」で受講指定 Po の付された 2 コマ・4 単位を履修し、残りの 1 コマは、「西南ヨーロッパ」で受講指定 Po の付されたものか、「ラテンアメリカ」で受講指定 Po の付された授業から選択し履修する。

4. ロシア

・「ロシア」で開講される 3 コマ・6 単位をすべて履修する。

5. 北アメリカ

・「北アメリカ」地域の学生は、「北アメリカ」で開講される 3 コマ・6 単位のうち、2 コマ・4 単位を選択して履修する。残り 1 コマ・2 単位は、「北西ヨーロッパ」、「北アメリカ」、「オセアニア」、「ラテンアメリカ」から選択して履修する。

（注）2024年度以降は、「北西ヨーロッパ」で開講される地域基礎は、2 コマ・4 単位になります。すでに取得された単位は引き続き有効です。

6. ラテンアメリカ

・「ラテンアメリカ」地域の学生は、「ラテンアメリカ」で開講される 4 コマ・8 単位のうち 2 コマ・4 単位を選択して履修する。残り 1 コマ・2 単位は、「西南ヨーロッパ」、「ラテンアメリカ」で受講指定 S、Po の付された授業の中から選択して履修する。

7. 東アジア

・「地域基礎 2 A（東アジア1～3）」「地域基礎 2 B（東アジア1～4）」から 3 コマ・6 単位を選択履修すること。

＊地域言語 A（朝鮮語）の学生は、必ず「地域基礎 2 B（東アジア4）」（1 コマ・2 単位）を選択履修するコマに含めること。

・選択に際しては、各自の専攻語に対応する地域の授業を推奨する。

中国地域：「地域基礎 2 A（東アジア1）」「地域基礎 2 B（東アジア1）」「地域基礎 2 B（東アジア2）」

朝鮮地域：「地域基礎 2 A（東アジア 2）」、「地域基礎 2 A（東アジア 3）」「地域基礎 2 B（東アジア 3）」「地域基礎 2 B（東アジア 4）」*

8. 東南アジア

地域言語 A（インドネシア語・マレーシア語・フィリピン語・タイ語・ラオス語・ベトナム語・カンボジア語・ビルマ語）の1年生は、必ず、春学期・水曜日1時限目に開講される「地域基礎1A(東南アジア1)」(東南アジア研究入門：2単位)を履修すること。さらに、地域言語Aに対応して開講されている「地域基礎2A(東南アジア)」を春学期1コマ・2単位および秋学期1コマ・2単位、合計2コマ・4単位を履修すること。地域言語A（インドネシア語・マレーシア語・フィリピン語・タイ語・ラオス語・ベトナム語・カンボジア語・ビルマ語）の1年生は、上記の地域基礎科目6単位を1年次に履修することが推奨される。ただし、地域言語A（フィリピン語）の学生は、春学期に「地域基礎1B(東南アジア2)」、秋学期に「地域基礎2A(東南アジア6)」を履修すること。また、地域言語A（ビルマ語）の学生は、春学期に「地域基礎2A(東南アジア15)」と秋学期に「地域基礎2B(東南アジア16)」を履修すること。

9. 南アジア

・これまで「地域基礎（南アジア）」を未履修の学生および2単位のみ修得の学生は、まず春学期に「地域基礎 1 A（南アジア 1）」もしくは「地域基礎 2 A（南アジア 2）」という名称の科目 3 コマのうち、各自の地域言語Aに対応する科目を一つ選択して履修し、秋学期に「地域基礎 1 B（南アジア 1）」「地域基礎 2 B（南アジア 1）」という名称の科目 3 コマのうち、春学期と同じ教員が担当する授業を履修すること。

・これまで「地域基礎（南アジア）」を 4 単位修得済の学生は、春学期の「地域基礎 1 A（南アジア 1）」「地域基礎 2 A（南アジア 2）」、秋学期の「地域基礎 1 B（南アジア 1）」「地域基礎 2 B（南アジア 1）」の 6 コマから適宜選択して 1 コマないし 2 コマ履修すること。

10. 西アジア・北アフリカ

「西アジア・北アフリカ」で開講される 3 コマ・6 単位をすべて履修する。

11. 中央アジア

・地域言語 A（モンゴル語）の学生は、「中央アジア」で開講される授業のうち受講指定Mの付された 3 コマ・6 単位（地域基礎1B（中央アジア1）、地域基礎2A（中央アジア3）、地域基礎2B（中央アジア5））を履修する。

・地域言語 A（ロシア語（中央アジア））の学生は、「中央アジア」で開講される「地域基礎 2 A（中央アジア 1・2）」（受講指定R（中央アジア）の付されたもの）2 コマ・4 単位を履修し、残り 1 コマ・2 単位は、「ロシア」で開講される「地域基礎 1 A（ロシア 1）」（受講指定R（中央アジア）の付されたもの）1 コマ・2 単位を履修する。

13. オセアニア

「オセアニア」で開講されている地域基礎3コマ・6単位をすべて履修する。

14. アフリカ

「アフリカ」で開講される3コマ・6単位をすべて履修する。